

6. ばれいしょ

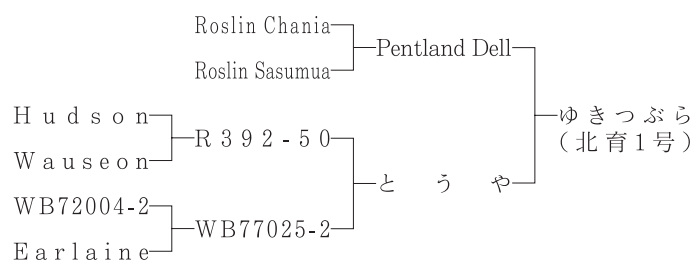
(1) ゆきつぶら (系統名 北育1号) 2005年

登録番号：(北海道) ばれいしょ北海道第43号
 (農水省) ばれいしょ農林54号
 (種苗法) 第16449号

セールスポイント

早生・白肉の生食用品種で、「男爵薯」より規格内いも収量が多い。ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、ポテトサラダ加工適性が優れる。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち高品質で多収な早生の生食用品種育成を目標として、1991年に北海道立根釧農業試験場において「Pentland Dell」を母、「とうや」を父として交配した組合せから選抜したもので、1998年に「根系104号」、1999年からは「北育1号」の系統名で各種の試験を行い、2005年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性は中間型、茎長は中で、分枝数は少ない。葉色は緑色で、小葉の大きさは中である。花色は白色で、花の数は少なく、自然結果は中程度発生する。
2. 塊茎は短卵形で、目はやや浅い。皮色は白黄色、肉色は白色である。
3. 初期生育は「男爵薯」並であるが、塊茎の早期肥大性はやや遅い。枯凋期は「男爵薯」より数日遅いが早生に属する。休眠期間は「男爵薯」並のやや長である。
4. 上いも平均一個重は「男爵薯」よりやや小さいが、上いも収量および規格内いも収量は「男爵薯」より多い。でん粉価は「男爵薯」並である。
5. 食味は「男爵薯」並に優れ、甘みが強い。調理特性は、剥皮褐変が少なく、水煮調理後の肉質はやや粘質で、煮崩れ程度および調理後黒変は少ない。
6. 塊茎の生理障害は、褐色心腐、二次生長および中心空洞の発生がいずれも微であり、特に中心空洞の発生

が「男爵薯」より少ない。打撲黒変耐性は、既存品種で最も強い「ホッカイコガネ」と同等の強である。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は強、Yモザイク病抵抗性、そうか病抵抗性は弱である。疫病抵抗性は強であるが、新レース出現により打破される可能性がある真性抵抗性と推定される。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、メトリブジン系の除草剤を植え付け後に散布すると薬害を生じる場合がある。疫病抵抗性があるが、抵抗性を侵す新レース出現の可能性があるので「男爵薯」に準じた防除を行う必要がある。「男爵薯」より塊茎の維管束褐変が発生しやすい傾向があるので、乾燥しやすい圃場で栽培する場合は注意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北見農試	ゆきつぶら	5.29	9.5	51	12.0	86	4,750	128	3,892	128	16.3	1999, 2000, 2002, 2003
	男爵薯	5.29	8.30	34	9.5	84	3,700	100	3,033	100	16.2	
中央農試	ゆきつぶら	5.27	8.29	51	13.0	81	4,567	115	4,318	120	15.5	1999, 2000, 2002, 2003
	男爵薯	5.27	8.23	38	11.1	84	3,985	100	3,606	100	14.5	
上川農試	ゆきつぶら	5.25	8.30	58	13.8	85	5,119	113	5,045	135	13.8	1999, 2000, 2002, 2003
	男爵薯	5.25	8.26	40	11.2	94	4,527	100	3,742	100	13.8	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a当り				で ん 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
十 勝 農 試	ゆきつぶら	5.27	8.27	59	12.5	80	4,421	126	4,244	129	15.0	1999, 2000, 2002, 2003
	男 爵 薯	5.28	8.24	42	10.1	80	3,508	100	3,292	100	14.7	
北 農 研	ゆきつぶら	5.24	9.8	57	12.5	86	4,768	122	3,829	122	16.7	1999, 2000, 2002, 2003
	男 爵 薯	5.24	9.2	38	10.6	87	3,921	100	3,142	100	16.2	

注1) 規格内いも収量は60～259gの塊茎の重量

- 参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 10-12 (2005)
2) 池谷ら, 道総研農試集報. 95, 13-24 (2011)

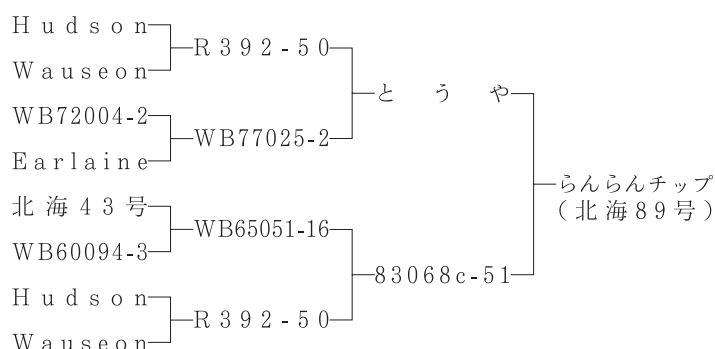
- (2) らんらんチップ (系統名 北海89号) 2005年
登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第44号
(農水省) ばれいしょ農林53号
(種苗法) 第16450号

テトチップ加工適性が「トヨシロ」より優れる。

来歴 本品種は早生でジャガイモシストセンチュウ抵抗性の品種育成を目標として, 1991年に農林水産省北海道農業試験場において, 「とうや」を母, 「83068C-51」を父として交配した組合せから選抜したもので, 1998年に「島系592号」, 2002年からは「北海89号」の系統名で各種の試験を行い, 2005年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

中早生のジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つチップ加工原料用品種で, 「トヨシロ」同様に秋まき小麦の前作に栽培可能である。翌年2月までの貯蔵に適し, ポ



特性概要

1. そう性はやや直立で, 茎長は「トヨシロ」並。茎の太さは太, 茎色は緑色で, 分枝数はやや少。葉色は「トヨシロ」と同じ淡緑色で, 小葉は大きい。花色は白色で, 花の数は「トヨシロ」より少なく, 自然結果は稀である。
2. 塊茎は倒卵形で, 粒揃いは「トヨシロ」並のやや整。皮色は黄褐色, 目は浅く, 目の数は少ない。肉色は黄白である。
3. 枯凋期は「トヨシロ」と同じ中早生で, 休眠期間は「トヨシロ」よりやや短い中である。
4. 上いも平均一個重は「トヨシロ」よりやや小さく, 規格内いも収量は「トヨシロ」並かやや少ない。でん粉価は「トヨシロ」並である。
5. ポテトチップカラーは「トヨシロ」より優れ, 翌年2月までの貯蔵に適する。
6. 塊茎の生理障害は, 裂開が稀にみられるが, 二次生

長および中心空洞の発生がほとんどなく, 褐色心腐の発生が微である。打撲耐性は「トヨシロ」よりやや弱い弱である。病虫害抵抗性は, ジャガイモシストセンチュウに抵抗性を持ち, 疫病菌による塊茎腐敗には強い。そうか病, 疫病およびYモザイク病に対する抵抗性は弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として, 栽植密度に対する反応が大きく, 疎植では収量低下の度合いが大きいので避ける。「トヨシロ」より打撲に弱いので, 収穫や移送時に打撲を与えないように注意する。また, 目数が少ないので, 種いもを切断する場合は頂芽の位置に十分注意する。不均等な切断により, 茎数の減少, 萌芽の不揃いを招き, 疎植反応から収量低下に繋がる場合がある。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a 当り				で ん 粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北 農 研	らんらんチップ	5.25	9.7	48	10.1	94	4,199	99	3,731	100	18.2	2002～2004
	トヨシロ	5.24	9.6	48	9.4	104	4,224	100	3,713	100	18.1	
中央農試	らんらんチップ	5.25	9.2	51	14.5	80	5,099	97	4,238	97	16.3	2002～2004
	トヨシロ	5.25	9.1	51	14.2	84	5,276	100	4,380	100	16.7	
上川農試	らんらんチップ	5.23	9.9	53	11.7	117	6,091	104	5,430	105	15.9	2002～2004
	トヨシロ	5.23	9.3	51	12.0	109	5,831	100	5,164	100	16.5	
十勝農試	らんらんチップ	5.26	8.29	62	10.0	92	4,059	93	3,560	92	16.9	2002～2004
	トヨシロ	5.27	9.1	62	10.1	102	4,371	100	3,882	100	16.3	
北見農試	らんらんチップ	5.28	9.3	39	8.4	88	3,391	92	2,955	91	17.8	2002～2004
	トヨシロ	5.30	8.31	40	7.5	104	3,555	100	3,253	100	17.4	

注1) 規格内いも収量は60～339gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成17年普及奨励ならびに指導参考事項, 13-15 (2005)

(3) さやあかね (系統名 北育8号) 2006年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第45号

(農水省) ばれいしょ農林59号

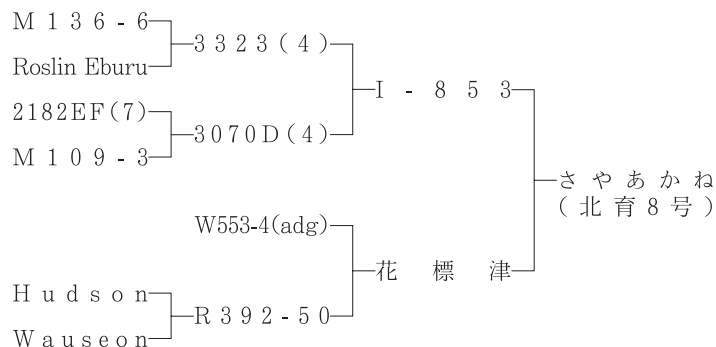
(種苗法) 第17446号

質に優れており, 食味が良くコロケ適性も優れる。

来歴 本品種は疫病圃場抵抗性およびジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ生食用品種の育成を目標として, インド原産の「I-853」を母, 「花標津」を父として交配した組合せから選抜したもので, 2001年より「北系9号」, 2002年からは「北育8号」の系統名で各種の試験を行い, 2006年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ中生の生食用品種である。疫病圃場抵抗性が強く疫病無防除栽培が可能である。規格内いも収量が多く, 芽が浅くて外観品



特性概要

1. そう性は中間型で, 茎長は「花標津」並のやや長, 茎の太さは「花標津」並の中, 分枝数は「花標津」並。葉色は緑色, 小葉の大きさは中, 花色は赤紫。花の数は「花標津」よりも少なく, 自然結果は少である。
2. 塊茎は球形, 皮色は淡赤。目の深さは「花標津」の深に対して中, 肉色は「花標津」の淡黄に対して黄白である。
3. 初期生育は「花標津」と同様のやや速, 塊茎の早期肥大性は「花標津」より早い中である。枯凋期は「花標津」よりやや早い中生, 塊茎の休眠期間は「花標津」

並のやや短である。

4. 規格内いも収量は「男爵薯」, 「花標津」より多い。株あたり上いも数は「花標津」より少なく, 上いも平均一個重は重い。でん粉価は「男爵薯」, 「花標津」よりやや高い。
5. 調理後の肉質は「男爵薯」並のやや粉質, 煮崩れの程度は「男爵薯」より多い多, 剥皮褐変はごく微, 調理後黒変の程度は微である。食味は「男爵薯」並で, コロケ適性を有する。
6. 塊茎の生理障害は, 褐色心腐の発生が少, 中心空洞および二次生長の発生が微である。打撲黒変耐性は

「男爵薯」よりやや強い。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病圃場抵抗性は「花標津」並の強である。Yモザイク病抵抗性はやや強、そうか病抵抗性は弱、粉状そうか病抵抗性は中である。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、褐色心腐が発生することがあるので、多肥や疎植をさけ、十分な培土を行う。黄変期に地上部が再生することがあるので、その場合には地上部処理を行う。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北見農試	さやあかね	5.27	9.23	63	12.1	80	4,476	141	3,746	138	17.5	2002～2004
	男爵薯	5.28	8.25	30	8.0	84	3,182	100	2,705	100	16.4	
	花標津	5.28	10.4	54	15.3	64	4,496	141	3,159	117	17.2	
中央農試	さやあかね	5.23	(9.28)	68	19.9	64	5,575	124	3,643	104	14.1	2002～2004
	男爵薯	5.24	8.17	38	14.0	73	4,498	100	3,488	100	15.4	
	花標津	5.23	9.19	72	23.4	57	5,827	130	3,215	92	14.3	
上川農試	さやあかね	5.22	9.15	72	15.5	97	6,589	129	5,321	127	15.6	2002～2004
	男爵薯	5.23	8.28	40	11.6	100	5,097	100	4,175	100	14.9	
	花標津	5.23	9.23	75	20.2	70	6,175	121	4,281	103	15.5	
十勝農試	さやあかね	5.24	9.15	91	12.1	85	4,454	113	3,679	107	15.5	2002～2004
	男爵薯	5.26	8.24	45	10.3	87	3,957	100	3,453	100	15.2	
	花標津	5.25	9.20	87	15.4	76	5,005	126	3,776	109	14.3	
北農研	さやあかね	5.22	9.12	65	12.6	83	4,572	119	3,703	113	16.6	2002～2004
	男爵薯	5.22	8.28	36	9.9	89	3,847	100	3,275	100	16.5	
	花標津	5.22	(9.21)	60	17.0	67	4,918	128	3,377	103	15.8	

注1) 枯凋期の括弧は未枯凋年を除く平均
2) 規格内いも収量は60～259gの塊茎の重量

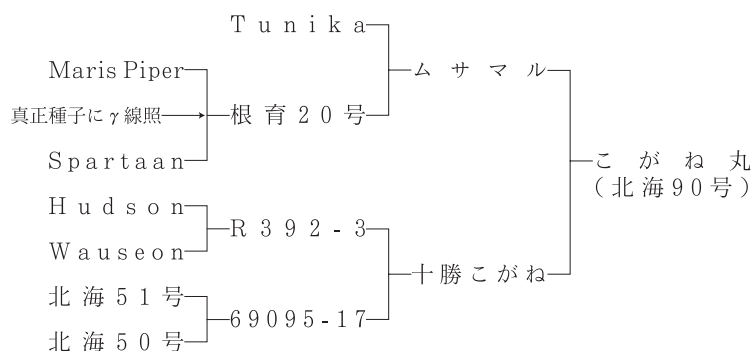
参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 36-38 (2006)

(4) こがね丸 (系統名 北海90号) 2006年
登録番号: (北海道)ばれいしょ北海道第46号
(農水省)ばれいしょ農林55号
(種苗法)第17448号

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、大粒、多収、フライ加工適性を持つ品種の育成を目標として、1995年に農林水産省北海道農業試験場において、「ムサマル」を母、「十勝こがね」を父として交配した組合せから選抜したもので、2002年より「勝系2号」、2003年からは「北海90号」の系統名で各種試験を行い、2006年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

セールスポイント

フライ加工適性が高く、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。中晩生で、でん粉価が高く大粒・多収で、曝光によるグリコアルカロイド増加が少ない。



特性概要

1. そう性は「ホッカイコガネ」よりやや開き、茎長はやや長く、茎の太さは「ホッカイコガネ」並の中で、分枝数は少である。
2. 塊茎は「ホッカイコガネ」よりやや短い楕円形で、皮色は黄褐、目の深さは浅い。肉色は「ホッカイコガネ」と同様の淡黄である。
3. 初期生育は「ホッカイコガネ」よりやや早い中。枯凋期は「ホッカイコガネ」並の中晩生で、塊茎の休眠期間は「ホッカイコガネ」よりやや長い。
4. 上いも平均一個重は「ホッカイコガネ」並の大粒で、規格内いも収量は「ホッカイコガネ」並か多く、でん粉価は高い。
5. フライは「ホッカイコガネ」に比べてやや褐変するが、十分使用可能な適性がある。肉質は「ホッカイコガネ」よりやや粉質の中で、煮崩れは中であり、生食用向けの「ホッカイコガネ」の置き換えには適さない。えぐ味の元であるグリコアルカロイドは光にあたるこ

とにより増加するが、「こがね丸」はその増加が少なく、収穫後の品質維持に優れる。

6. 塊茎の生理障害は、二次生長と褐色心腐の発生が無で、中心空洞の発生が微、打撲黒変耐性が弱である。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウに対し抵抗性を持ち、疫病、そうか病およびYモザイク病に対する抵抗性は「ホッカイコガネ」と同じ弱である。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は「ホッカイコガネ」よりやや弱いやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、打撲黒変耐性が弱なので、収穫や移送時に打撲を与えないように注意する。「ホッカイコガネ」より中心空洞が発生しやすいので、十分な培土を行い、疎植・多肥をさける。疫病に対する塊茎腐敗がやや弱く、枯凋期が「ホッカイコガネ」より遅れることがあるので、生育後期まで適正な防除に努める。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a 当り				でん 粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北 農 研	こ が ね 丸	5.27	9.24	90	9.4	133	5,299	100	4,776	98	19.3	2001～2005
	ホッカイコガネ	5.28	9.28	75	9.2	132	5,305	100	4,878	100	17.5	
中 央 農 試	こ が ね 丸	5.29	9.20	77	12.4	110	5,998	108	5,377	113	17.0	2003～2005
	ホッカイコガネ	5.31	9.20	68	13.8	91	5,534	100	4,772	100	16.3	
上 川 農 試	こ が ね 丸	5.29	10.3	78	11.2	146	7,159	132	6,356	136	18.2	2003～2005
	ホッカイコガネ	5.30	9.29	73	13.2	92	5,441	100	4,675	100	16.1	
十 勝 農 試	こ が ね 丸	5.28	9.21	118	9.0	124	5,027	96	4,580	97	18.4	2003～2005
	ホッカイコガネ	5.31	9.25	98	9.8	118	5,217	100	4,705	100	17.2	
北 見 農 試	こ が ね 丸	6.2	10.1	73	7.8	137	4,831	115	4,520	119	20.3	2003～2005
	ホッカイコガネ	6.3	10.3	59	8.9	107	4,209	100	3,805	100	18.5	

注1) 規格内いも収量は60～339gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成18年普及奨励ならびに指導参考事項, 39-41 (2006)

(5) きたかむい (系統名 HP01) 2007年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第48号
(農水省)
(種苗法) 第19543号

つ早生の生食用品種育成を目標として、1997年にホクレン農業総合研究所において、「イエローシャーク」を母、「とうや」を父として交配した組合せから選抜したもので、2004年から「HP01」の系統名で各種試験を行い、2007年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。

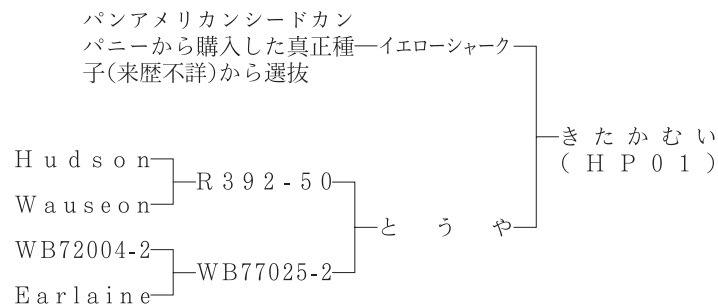
セールスポイント

早生の生食用品種で、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。「男爵薯」より規格内いも収量が多く、煮崩れ、調理後黒変が少なく良食味である。

来歴 本品種はジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持

特性概要

1. そう性は中間型で、茎長はやや短く、分枝数は少ない。葉色は緑色で、小葉は大きい。花色は白色で、花の数はやや多く、自然結果はほとんどない。



2. 塊茎は球形で、目はやや浅い。皮色は白黄で、目の数は少なく、肉色は白である。
3. 枯凋期は「男爵薯」並の早生で、休眠期間は「男爵薯」並のやや長である。
4. 株あたり上いも数は「男爵薯」並で、上いも平均一個重は「男爵薯」より大きく、規格内いも収量は「男爵薯」より多い。でん粉価は「男爵薯」より低い。
5. 「男爵薯」より剥皮褐変、煮崩れ、調理後黒変が少なく調理特性が優れる。肉質はやや粘質で良食味である。
6. 塊茎の生理障害は、中心空洞および二次生長の発生が微である。褐色心腐の発生は「男爵薯」よりやや多い少である。病虫害抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち、疫病、Yモザイク病およびそうか病に対する抵抗性は「男爵薯」と同様に弱である。

疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は「男爵薯」よりやや強いやや弱であるが、疫病菌以外が原因となる腐敗が発生することがある。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯一円に適する。栽培上の注意として、疫病や軟腐病等により塊茎の腐敗が発生することがあるので、防除を十分行うとともに、湿潤な土壌での栽培は避け、収穫時に塊茎に損傷を与えないように注意し、収穫後は涼しい場所でよく風乾する。褐色心腐が発生することがあるので、多肥や疎植を避け、十分な培土を行う。まれに維管束褐変が発生するので、乾燥しやすい圃場で栽培する際は注意する。「男爵薯」より倒伏しやすいので、多肥を避ける。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a 当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
中央農試	きたかむい	6.3	8.29	66	12.9	101	5,720	124	4,698	134	12.4	2004~2006
	男爵薯	5.29	8.26	46	14.2	74	4,619	100	3,515	100	15.5	
上川農試	きたかむい	5.31	9.4	72	11.0	131	6,292	113	5,354	114	11.8	2004~2006
	男爵薯	5.27	9.7	54	13.1	96	5,590	100	4,695	100	14.3	
十勝農試	きたかむい	6.1	8.29	82	9.3	111	4,584	110	4,143	117	11.7	2004~2006
	男爵薯	5.29	9.2	54	11.4	84	4,167	100	3,537	100	14.5	
北見農試	きたかむい	6.2	9.8	57	10.3	114	5,193	125	4,618	122	13.0	2004~2006
	男爵薯	6.1	9.5	39	9.1	102	4,156	100	3,774	100	15.3	

注1) 規格内いも収量は60~259gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 8-11 (2007)

(6) はるか(系統名 北海94号) 2007年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第47号
(農水省) ばれいしょ農林60号
(種苗法) 第17576号

白肉で、煮くずれが少なく、食味が優れ、ポテトサラダおよびコロケ加工適性もある。「男爵薯」よりも多収で、青枯病にやや強い。

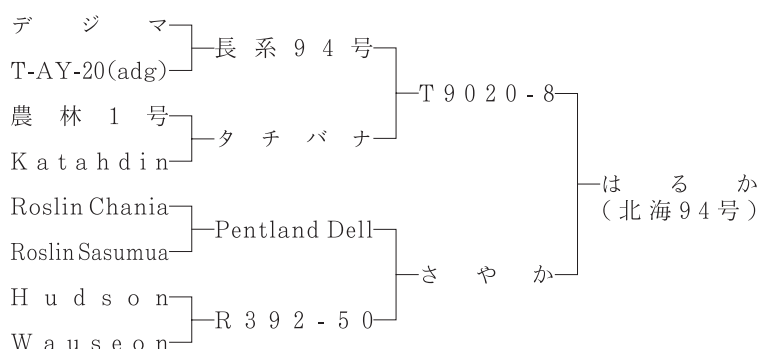
セールスポイント

目の周りが赤く着色した、外観に特徴のある中生で生食用のジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種である。

来歴 本品種は白肉で良食味のジャガイモシストセンチュウ抵抗性品種を目標として、1994年に長崎県総合農林試験場愛野馬鈴薯支場において、「T9080-8」を母、「さやか」を父として交配採種し、1998年に農林水産省北海

道農業試験場において播種した実生集団より選抜したもので、2003年より「勝系7号」、2004年からは「北海94

号」の系統名で各種の試験を行い、2007年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性はやや直立で、茎長は「男爵薯」より長く、「さやか」並の中。茎色は緑色、茎の太さは中。葉色は緑色で、小葉の大きさは中。花色は赤紫色で、白色が両面先に分布する。花の数は多く、自然結果は少である。
2. 塊茎は倒卵形で、目はやや浅い。皮色は白で、目の周りが赤く着色した特徴のある外観を呈する。肉色は白色である。
3. 初期生育は「男爵薯」よりやや遅く「さやか」並、塊茎の早期肥大性は「男爵薯」、「さやか」並のやや速である。枯凋期は「男爵薯」よりも遅く「さやか」並の中生で、塊茎の休眠期間は「さやか」より短く、「男爵薯」並のやや長である。
4. 規格内いも収量は「男爵薯」よりも多く「さやか」並である。上いも平均一個重は「男爵薯」より大きく「さやか」よりやや小さい。でん粉価は「男爵薯」、「さやか」よりやや低い。
5. 調理後の肉質はやや粘、食味は中上である。水煮による煮くずれの程度は、「男爵薯」、「さやか」よりやや少ない少で、剥皮褐変は「男爵薯」、「さやか」より

も少ない微、調理後黒変は「さやか」よりやや多く「男爵薯」並の少である。ポテトサラダおよびコロケ加工適性を有しており、ポテトチップ・フライ適性は中である。

6. 塊茎の生理障害は、褐色心腐の発生が「さやか」同様に無、二次生長の発生が「さやか」よりわずかに多く、「男爵薯」並の微、中心空洞の発生が「さやか」より多く、「男爵薯」より少ない微である。打撲黒変耐性はやや強い。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性遺伝子を有し、青枯病に対してもやや強の抵抗性を持つ。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は「男爵薯」より強く、「さやか」並のやや強である。疫病、そうか病およびYモザイク病に対する抵抗性は「男爵薯」、「さやか」同様に弱い。

栽培適地と奨励態度

北海道のばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、目数が少ないため、種いもを切断する場合は頂芽の位置に十分注意する。また、PVY-T系統の感染による上位葉の病徴は不明瞭なモザイクであるため採種管理に当たっては注意する。

試験場名	品種名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北農研	はるか	5.27	9.20	62	9.4	107	4,395	114	3,952	120	15.9	2003~2006
	男爵薯	5.24	9.1	43	10.2	87	3,882	100	3,297	100	16.4	
	さやか	5.28	9.16	58	8.7	113	4,393	113	3,975	121	16.8	
中央農試	はるか	6.2	9.13	61	15.5	88	5,739	125	4,819	138	14.2	2004~2006
	男爵薯	5.29	8.26	46	14.2	74	4,619	100	3,515	100	15.5	
上川農試	はるか	5.31	9.22	67	13.1	108	6,229	112	5,422	116	14.0	2004~2006
	男爵薯	5.27	9.7	54	13.1	96	5,590	100	4,695	100	14.3	
十勝農試	はるか	5.29	9.15	83	11.1	87	4,320	104	3,862	110	13.7	2004~2006
	男爵薯	5.29	9.2	54	11.4	84	4,167	100	3,537	100	14.5	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平 均 一 個 重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北 見 農 試	は る か 男 爵 薯	6.3	9.25	58	8.6	120	4,605	111	4,120	111	15.7	2004~2006
		6.1	9.5	39	9.1	102	4,156	100	3,774	100	15.3	

注1) 規格内いも収量は60~259gの塊茎の重量

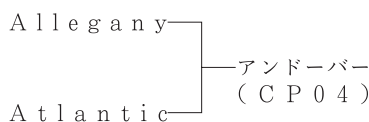
参照 1) 北海道農政部編, 平成19年普及奨励ならびに指導参考事項, 39-41 (2007)

(7) アンドーバー (系統名 CP04) 2008年

登録番号: (北海道)ばれいしょ北海道(輸)第49号
(農水省)
(種苗法)

セールスポイント

ポテトチップ加工適性が優れる, 油加工用品種である。
ジャガイモシストセンチュウ抵抗性と中程度のそうか病
抵抗性を持つ。



来歴 本品種は, 1981年にアメリカ合衆国ニューヨーク州コーネル大学において「Allegany」を母, 「Atlantic」を父として交配した組合せから選抜し, 1998年に公表された品種である。カルビーポテト株式会社が1995年に導入し, 2004年から「CP04」として各種の試験を行い, 2008年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。

特性概要

1. そう性はやや開張型で, 茎長はやや短く, 分枝数は少ない。葉色は緑色で, 小葉は大きい。花色は白色で, 花の数は中で, 自然結果は認められない。
2. 塊茎は球形で, 目は浅い。皮色は黄褐色で, 表皮はやや粗く, 肉色は白色である。
3. 初期生育は「トヨシロ」より早い, 塊茎の早期肥大性はやや遅い。枯凋期は「トヨシロ」並の中早生で, 休眠期間は「トヨシロ」並の長である。
4. 上いも数は「トヨシロ」並, 上いも平均一個重は「トヨシロ」より小さい。規格内いも収量は「トヨシロ」より少なく, でん粉価は「トヨシロ」より低い。
5. ポテトチップの褐変程度は早掘り, 普通掘りとも無で, 「トヨシロ」より優る。貯蔵後においても, 6℃貯蔵の褐変程度はやや多で「トヨシロ」並, 9℃貯蔵では微で「トヨシロ」より優れている。原料不良率は

「トヨシロ」より低い。

6. 塊茎の生理障害は, 褐色心腐, 中心空洞および二次生長の発生が「トヨシロ」並の微である。病害虫抵抗性は, ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し, 疫病菌による塊茎腐敗およびそうか病に対する抵抗性は中, 疫病およびYモザイク病に対する抵抗性は弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道のポテトチップ用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として, 開花期以降にウイルス病様(モザイク, えそ斑, 葉巻症状)の生理障害が発生することがある。特に干ばつ条件下や乾燥しやすい圃場で多発する傾向があるので, 保水力が高く肥沃な圃場を選択し, 適切な肥培管理に努める。原採種栽培におけるウイルス罹病株抜き取り作業の際は, 生理障害との区別に留意する。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平 均 一 個 重 (g)	10 a 当り				で ん 粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
中 央 農 試	ア ン ド ー バ ー ト ヨ シ ロ	5.28	8.26	54	13.9	69	4,239	83	3,009	72	15.3	2004, 2006
		5.28	9.2	57	14.2	83	5,095	100	4,158	100	17.2	
上 川 農 試	ア ン ド ー バ ー ト ヨ シ ロ	5.27	9.10	58	11.8	105	5,399	91	4,839	100	13.9	2004, 2006, 2007
		5.29	9.11	63	11.2	127	5,969	100	4,858	100	16.9	

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				で ん 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
十 勝 農 試	ア ン ド ー バ ー ト ヨ シ ロ	5.28	9.2	61	9.5	98	4,092	89	3,695	90	14.0	2004, 2006, 2007
		5.29	9.3	69	10.9	96	4,622	100	4,087	100	16.1	
北 見 農 試	ア ン ド ー バ ー ト ヨ シ ロ	6.1	9.5	46	8.6	99	3,762	89	3,433	87	14.5	2004, 2006, 2007
		6.1	9.6	49	8.7	109	4,251	100	3,931	100	17.2	

注1) 規格内いも収量は60~339gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成20年普及奨励ならびに指導参考事項, 35-38 (2008)

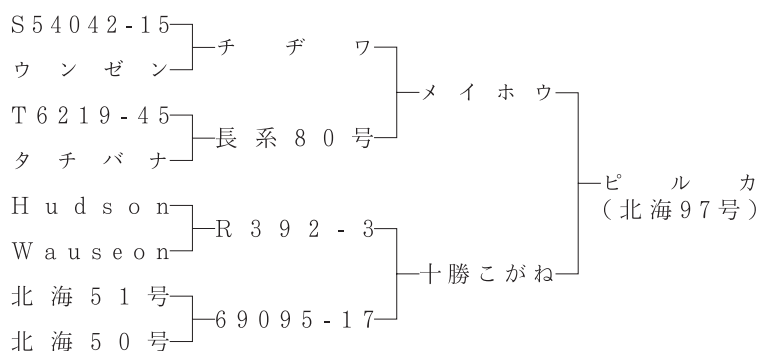
(8) ピルカ (系統名 北海97号) 2009年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第50号
(農水省) ばれいしょ農林61号
(種苗法) 第20750号

セールスポイント

多収で水煮適性の高い調理用品種である。長卵形で芽が浅く、外観・剥皮効率が優れる。中早生で、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。

来歴 本品種は外観の優れる多収・良食味ジャガイモシストセンチュウ抵抗性生食用品種の育成を目的として、1994年に長崎県総合農林試験場愛野馬鈴薯支場において「メイホウ」を母、「十勝こがね」を父として交配採種し、1999年に農林水産省北海道農業試験場において播種した実生集団より選抜したもので、2005年より「勝系12号」、2006年からは「北海97号」の系統名で各種の試験を行い、2009年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性は「男爵薯」並のやや直立で、茎長は「男爵薯」より長く、「メイクイン」並。茎の太さは「男爵薯」並の中。葉色は濃緑色で、小葉の大きさは中。花色は紫色で、花の数は多く、自然結果は少である。
2. 塊茎は長卵形で、目の数が少なく、目の深さは浅い。塊茎の肉色は明黄である。
3. 枯凋期は「メイクイン」並の中早生で、初期生育および塊茎の早期肥大性は「男爵薯」, 「メイクイン」よりやや劣る。
4. 上いも平均一個重および規格内いも収量は「男爵薯」より多い。でん粉価はやや低い。
5. 水煮調理後の煮崩れおよび黒変が少なく、食味が「男爵薯」並に優れるので、総合的に水煮適性が高い。ポテトチップ・フライの適性は「男爵薯」並である。

また、目が浅く二次生長が少ないので、剥皮効率が優れる。

6. 塊茎の生理障害の発生は少ない。打撲黒変耐性は「男爵薯」より強い中である。病虫害抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウに抵抗性を有し、Yモザイク病、疫病およびそうか病に対する抵抗性は弱く、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性はやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道の生食用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、塊茎の目の数が少なく、萌芽時の整否や初期生育がやや劣り、その後の生育むらを生じやすいため、種いもの管理および播種に当たっては浴光育芽や芽の脱落防止等の適正な管理に努める。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10a 当り				で ん 粉 上いも 粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北 農 研	ピ ル カ	5.29	9.10	58	9.5	107	4,443	118	3,654	118	15.0	2003～2008
	男 爵 薯	5.24	9.2	41	10.3	83	3,770	100	3,109	100	16.4	
	メ ー ク イ ン	5.26	9.13	56	11.9	83	4,299	114	3,421	110	16.3	
中 央 農 試	ピ ル カ	5.30	9.2	50	13.9	91	5,559	113	4,469	109	14.2	2006～2008
	男 爵 薯	5.25	8.25	43	12.6	88	4,918	100	4,106	100	15.7	
上 川 農 試	ピ ル カ	5.31	9.22	52	13.7	104	6,198	117	4,520	115	14.0	2006～2008
	男 爵 薯	5.28	9.10	52	11.1	112	5,300	100	3,918	100	15.3	
十 勝 農 試	ピ ル カ	5.31	9.6	79	11.2	104	5,185	124	4,374	133	12.7	2006～2008
	男 爵 薯	5.30	8.30	55	12.4	77	4,188	100	3,300	100	14.2	
北 見 農 試	ピ ル カ	6.6	9.13	70	8.6	126	4,800	110	3,800	97	13.5	2006～2008
	男 爵 薯	6.1	9.5	46	9.5	104	4,383	100	3,905	100	14.9	

注 1) 規格内いも収量は60～259gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成21年普及奨励ならびに指導参考事項, 36-38 (2009)

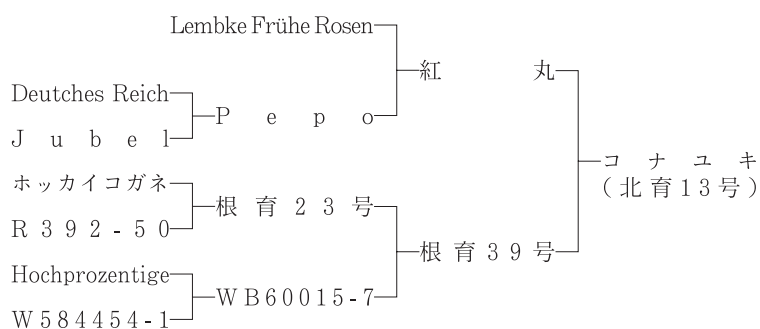
(9) コナユキ (系統名 北育13号) 2010年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第51号
(農水省) ばれいしょ農林62号
(種苗法) 第21865号

セールスポイント

ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ, 中晩生のでん粉原料用品種である。やや小粒であるがでん粉収量は「コナフブキ」並で, でん粉品質は「紅丸」並に良好である。

来歴 本品種は, ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持ち, でん粉品質が高く多収なでん粉原料用品種の育成を目標として, 1998年に北海道立北見農業試験場において, 「紅丸」を母, 「根育39号」を父として交配した組合せから選抜したもので, 2005年より「北系28号」, 2006年からは「北育13号」の系統名で各種の試験を行い, 2010年に優良品種となった。なお, 本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性はやや直立, 茎長と茎の太さは「コナフブキ」並の中, 分枝数は多。葉色は濃, 複葉の大きさは中。花数は中, 花色は白, 自然結果は無である。
2. ふく枝は短く, 塊茎の着生は浅い。塊茎は球形で, 目の深さは「コナフブキ」並。皮色は紫, 肉色は紫斑である。
3. 初期生育はやや速, 塊茎の早期肥大性もやや速であ

- る。枯凋期は「コナフブキ」並の中晩性である。塊茎の休眠期間は「コナフブキ」より短いやや短である。
4. 上いも収量は「コナフブキ」並の中で, 上いも平均一個重は軽い, 株あたり上いも数は多い。でん粉価は「コナフブキ」並で, でん粉収量は「コナフブキ」並の多である。
5. 離水率およびリン含量は「紅丸」並である。でん粉粒子の大きさは「紅丸」よりやや小さく「コナフブキ」

並、灰分含量は「コナフブキ」より低く「紅丸」並である。

6. 塊茎の生理障害は、褐色心腐の発生が「コナフブキ」並の微、中心空洞の発生が無である。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を有し、疫病抵抗性、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性、そうか病抵抗性およびYモザイク病抵抗性はいずれも弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道のでん粉原料用ばれいしょ栽培地帯（主としてジャガイモシストセンチュウ発生地帯）に適する。栽培上の注意として、塊茎が小さいので、「コナフブキ」より収穫時の掘り残しが多い。多雨や土壌の水分過多で「コナフブキ」より減収する事例があったので、排水不良地での栽培は避ける。塊茎の休眠期間がやや短いため、収穫後の保管に留意する。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性が弱であるので、疫病防除を適切におこなう。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	でん粉 収 量 (kg)	同左比 (%)		
北見農試	コナユキ	6.1	10.1	75	14.9	79	5,106	105	1,015	101	20.9	2006～2009
	コナフブキ	6.3	10.5	74	10.1	111	4,879	100	1,004	100	21.6	
	紅丸	6.1	10.8	80	11.9	108	5,594	115	862	86	16.4	
	アスタルテ	6.3	10.13	89	14.6	88	5,654	116	1,085	108	20.1	
十勝農試	コナユキ	5.27	9.24	88	16.3	68	4,795	105	949	104	20.8	2006～2009
	コナフブキ	5.30	9.27	96	10.7	97	4,557	100	913	100	21.0	
	紅丸	5.29	9.28	98	12.7	100	5,598	123	853	93	16.2	
北農研	コナユキ	5.28	9.29	63	15.4	62	4,204	102	874	95	21.9	2006～2009
	コナフブキ	5.30	10.1	70	9.4	99	4,141	100	916	100	23.3	

参照 1) 北海道農政部編, 平成22年普及奨励ならびに指導参考事項, 9-12 (2010)

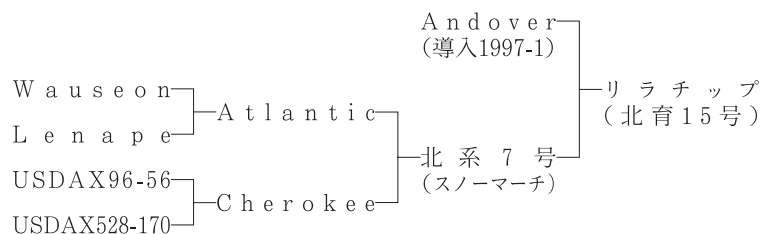
(10) リラチップ (系統名 北育15号) 2013年

登録番号: (北海道) ばれいしょ北海道第52号
(農水省) ばれいしょ農林 号
(種苗法) 第 号

セールスポイント

ポテトチップ加工適性が高く、特に長期貯蔵後の品質は「スノーデン」以上である。ジャガイモシストセンチュウ抵抗性と中程度のそうか病抵抗性を併せ持つ。

来歴 本品種は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ高品質ポテトチップ原料用品種の育成を目標として、2000年に北見農試において「Andover」を母、「北系7号 (スノーマーチ)」を父として交配した組合せから選抜したもので、2007年から「北系31号」、2008年からは「北育15号」の系統名で各種試験を行い、2013年に優良品種となった。なお、本品種の系譜は次のとおりである。



特性概要

1. そう性は中間型、草姿はやや直立で、茎長は「トヨシロ」および「スノーデン」並。複葉の大きさは中。花色は白で、花の数は「トヨシロ」並、自然結果はほとんどない。

2. 塊茎の形は卵形で、目は浅い。皮色は淡ベージュで、肉色は白である。
3. 塊茎の早期肥大性は「スノーデン」より早く、「トヨシロ」より遅いやや遅である。枯凋期は「スノーデン」より早く「トヨシロ」より遅い中生で、休眠期間

- は「トヨシロ」より短く「スノーデン」並の中である。
4. 上いも平均一個重は「トヨシロ」より軽く、「スノーデン」並の中である。規格内いも収量は「トヨシロ」、「スノーデン」よりやや重い。でん粉価は「トヨシロ」、「スノーデン」より低い。
5. ポテトチップ加工適性は、貯蔵後の翌年の5～6月に、特に他品種より高品質なポテトチップの生産が可能で、実需評価も高い。
6. 塊茎の生理障害は、褐色心腐の発生が「スノーデン」よりやや高い微であり、中心空洞および二次生長の発生が、それぞれ「スノーデン」並の微、極微である。病害虫抵抗性は、ジャガイモシストセンチュウ抵抗性

を持つほか、そうか病抵抗性が中である。疫病およびYモザイク病に対する抵抗性は弱、疫病菌による塊茎腐敗抵抗性は「スノーデン」より弱く「トヨシロ」並のやや弱である。

栽培適地と奨励態度

北海道の加工用ばれいしょ栽培地帯に適する。栽培上の注意として、でん粉価の向上を図るため、多肥を避け、早植え、浴光催芽などの基本技術を励行し、完熟塊茎の生産に努める。中心空洞の発生を防ぐため、疎植を避ける。疫病菌による塊茎腐敗抵抗性がやや弱であるので、疫病防除を適切に行う。

試験場名	品 種 名	萌芽期 (月日)	枯凋期 (月日)	茎 長 (cm)	株当り 上いも 数(個)	上いも 平均 一個重 (g)	10 a 当り				でん粉 価 (%)	試験年次
							上いも 収 量 (kg)	同左比 (%)	規格内 いも収量 (kg)	同左比 (%)		
北見農試	リラチップ	6.6	9.16	74	10.7	102	4,854	100	4,343	102	14.2	2008～2012
	トヨシロ	6.6	9.6	75	9.1	122	4,859	100	4,256	100	15.6	
	スノーデン	6.5	10.5	93	10.0	104	4,581	94	4,196	99	14.9	
	きたひめ	6.4	9.18	79	8.7	118	4,400	91	4,057	95	15.3	
中央農試	リラチップ	5.25	8.28	54	12.4	107	5,835	113	5,200	117	13.2	2011, 2012
	トヨシロ	5.26	8.30	55	11.2	106	5,183	100	4,461	100	17.1	
	スノーデン	5.25	9.5	69	15.1	78	5,019	97	3,826	86	14.2	
上川農試	リラチップ	6.1	9.14	58	12.4	103	5,186	102	4,585	105	14.0	2009～2012
	トヨシロ	5.31	9.4	61	11.1	107	5,103	100	4,363	100	15.5	
	スノーデン	5.30	9.23	73	14.0	90	5,554	109	4,669	107	14.7	
十勝農試	リラチップ	6.1	9.8	67	10.4	104	4,819	108	4,398	111	13.7	2009～2012
	トヨシロ	5.31	9.4	70	10.1	99	4,445	100	3,975	100	16.0	
	スノーデン	5.31	9.15	87	10.8	80	4,059	91	3,228	81	14.2	
北農研	リラチップ	6.7	9.10	56	8.7	108	4,125	94	3,815	101	14.6	2009～2012
	トヨシロ	6.3	9.5	52	10.9	91	4,373	100	3,785	100	17.3	
	スノーデン	6.4	9.14	60	10.0	96	4,192	96	3,713	98	14.9	

注1) 規格内いも収量は60～339gの塊茎の重量

参照 1) 北海道農政部編, 平成25年普及奨励ならびに指導参考事項, 4-7 (2013)

7. そば

(1) キタノマシュウ (系統名 北海6号) 2006年

登録番号: (北海道) そば北海第3号

(農水省) そば農林4号

(種苗法) 第13298号

セールスポイント

有限伸育性で「キタワセソバ」より草丈が低く、耐倒伏性にやや優る。甘みがあり良食味である。

来歴 本品種は、北海道農業試験場（現北海道農業研究センター）において、耐倒伏性・短茎・多収そば品種の育成を目標として、1995年に「キタワセソバ」集団より発見・選抜した伸育性が有限の変異個体に由来する系統である。1997年に「キタワセD」の系統名で生産力検定予備試験に供試し、2002年より「北海6号」として各種試験に供試し、2006年に優良品種となった。